

日常会話聞き取れますか？

聴脳力をチェック

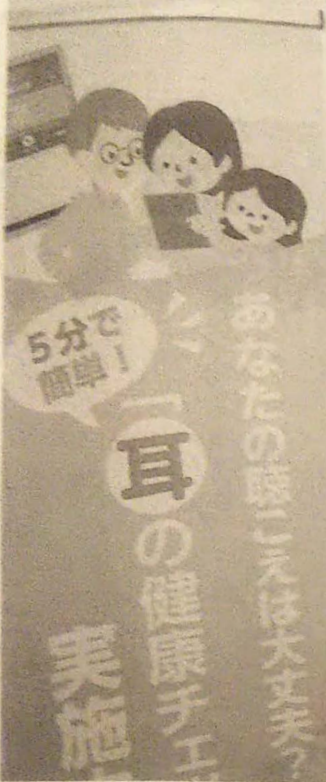
鹿児島厚生連病院（鹿児島市）は、NPO法人日本ユニバーサル・サウンドデザイン協会と連携し、言葉を聞き取る脳力「聴脳力」の調査を進めている。全国的にも珍しい取り組み。タブレット端末を使い、音声で流れる単音の言葉を聞き取り、クイズ形式で答える。正解率に加え、回答への反応速度や聞き直しの回数なども加味し、100点満点で点数化。簡単に耳の健康をチェックする。調査は3月まで続け、分析結果は日本農村医学会などで発表する予定だ。

鹿児島厚生連病院

一般の聴力検査は、通常かは分かるが、日常会話検査として1000％の話し聞こえの程度を十分と4000％の聞こえの判断することができない状態を調べる。正常か異い。そこで同病院の西田



クイズ形式で「聴脳力」をチェック（鹿児島市で）



NPO法人と連携 農村医学会で結果発表

伊豆美師長ら調査チームは、聞こえの状態を把握するため、今年1月から人間ドックの受診者呼び掛け、「聴脳力チェック」を始めた。

スピーカーから「が」「ら」などの単音を再生し、その言葉を聞いて端末に記入する。実施時間は3〜5分。全20問を答えることで聞こえの状態を素早く点数化する。14日現在、360人を診断した。うち5％程度が聴力に異常があると思われる80点以下だという。聞こえの状態によっては耳鼻咽喉科を受診することも勧めている。

調査チームは、①騒がしい場所での会話が難しい②テレビの音量を上げてしまおう③複数人での会話が聞き取りにくい――などと感じたら耳の健康チェックが必要だと呼び掛ける。

研究を進める西田師長は「耳の衰えを放置すると、心身の活力も衰え、認知症やうつ状態となるリスクが高まる。難聴の早期発見は今後の超高齢化社会での重要な取り組みとなる」と話している。

(かいこま)